

小高復興デザインセンター

小高志

No.15

2018年
12月

まちに彩りを添えて

小高区小高のざる菊

2代目 活動報告

おだか夏祭りで水鉄砲イベントを実施！



子どもたちにたくさん参加してもらい、LLOも身体をはって頑張りました！

2018年8月12日（日）小高区役所前で地域の子どもたち向けの水鉄砲イベントを実施しました。夏祭りに訪れた多くの子どもたちに満喫してもらい、子どもたちの笑い声がまことに響き渡りました。

Live Lines Odaka (LLO) は、小高のまちの活性化に向けて活動している高校生グループです。デザインセンターでは、LLOの会議やイベントなどに参加し、活動支援を行っています。現在2代目となり、①小高区の魅力発信 ②高校生の居場所づくり③地域の方々との交流の、3つの取組みに注力してきました。ここでは、2018年度上半期の活動のうち、③地域の方々との交流をテーマに実施してきた内容と視察研修についてご報告します。



Happy berry project 真岡市 × Live Lines Odaka 南相馬市 集合写真

栃木県真岡市 × 南相馬市 真岡市の高校生と 地域のみなさまとの 交流イベントを開催！

オリエンテーション



オリジナルゲームで和みました



みんなすぐに打ち解けました！

2018年8月10日（金）午前9時～午後2時頃、小高保健福祉センターに、真岡市内4校の高校生や教員、社会福祉協議会など総勢約30名が来訪し、南相馬市社会福祉協議会、おだかぶらっとほむ、心のケアセンターなごみさんなど地域のみなさまと一緒に交流イベントを実施しました。夏祭りイベントで使う水鉄砲を作る「水鉄砲づくり班」と、地域のみなさまに教わりながら郷土料理を作る「お料理班」に分かれて活動しました。

お料理班



地域のお母さんたちに作り方を教えていただきました



かつおの焼き漬けづくり



塩ビパイプで1から作ります



みんなで試し打ちしました！



ほっきおこわのおにぎりとかつおの焼き漬け完成です！



みんなで美味しくいただきました！



威力抜群です…！



真剣に水鉄砲作成中です

栃木市・白河市への視察研修を実施！

8月15日、16日で栃木市および白河市を訪問し、LLO12名が参加。両市の高校生、大学生らとの交流を深めました。2日間の活動を経て、自分が「やりたいこと」を率直に提案し、実現につなげていく姿勢が大事だというメッセージをもらいました。

とちぎ高校生蔵部 との交流

8月15日は、栃木県栃木市の「とちぎ高校生蔵部」と交流を行いました。「とちぎ高校生蔵部」は、栃木市内の複数の高校からの有志による地域まちづくりに関する活動を行っている団体です。当日は、蔵の町並みが残る栃木市のまち歩きを行った後、市役所にて「知る・楽しむ・盛り上げる」をキーワードとした地元の活性化を提案するワークショップを行いました。



ワークショップの成果発表の様子。地元を知ってもらうイベント企画などの提案が出されました。



グループワークの様子。栃木市と南相馬市それぞれの状況について話し合い、提案を行いました。



「とちぎ高校生蔵部」との集合写真。



栃木市まちあるきの様子。蔵の町並みが美しかったです。



EMANON を拠点に活動する高校生による活動紹介の様子。



集合写真。古民家を改修した「EMANON」の活動拠点にて。

EMANON での交流

翌8月16日は、福島県白河市に移動し、「EMANON」を訪問しました。空き家を改修したカフェ「EMANON」は、白河市の高校生の居場所としても開放されており、EMANON を拠点にまちづくり活動を行う高校生や、EMANON を卒業した大学生らと交流を行いました。白河市の中心部のまち歩きを行った後、グループに分かれて南相馬市・白河市の両地域が抱える課題、自分がまちづくりに対してやりたいことについてグループワークを行い、提案を行いました。



ワークショップの成果発表の様子。南相馬市の課題について発表。行事が少なく、あまり知られていないことを指摘しました。



白河市中心部を高校生に案内してもらいました。駅前には新しい公共施設が整備されています。

出張!



小高復興デザインセンター ODAKA RE-DESIGN CENTER



パネルの説明を通して活動紹介をしました

10月20・21日に行われた
おだか秋祭りに合わせて、
デザインセンターとしても、
いつもの旧社協会館を飛び出して、
まちなかで展示を行いました。
その様子を報告・ご紹介します!



パネルを並べて準備。看板も一緒に出張です

20日は途中、雨も降りましたが、21日は秋晴れとなり、立ち寄った方からは、模型を見ながら地元や思い出のある場所のお話を聞くこともできました。

展示を行ったのは、駅前通り沿いのまちなか菜園（屋根園…やねん）の一角。デザインセンターの活動紹介や、東京大学が行った調査の報告などをパネルにて展示しました。



日曜日にはいろんな方が訪れて賑わう時間も。当日はLLOメンバーにも運営を手伝ってもらいました

まちなか菜園プロジェクト紹介



行政区での活動紹介



今回展示したパネルや地形模型、地域づくり手帖などは、デザインセンターにて引き続き展示・ご紹介しています。
ご興味を持たれた方は、ぜひ小高復興デザインセンターにお越しください!

展示の内容を少しご紹介!



模型も囲んで話がはずみます！ 奥にはパーゴラも。

協力してパーゴラをつくりました



秋祭りの本会場となっている駅前通り沿いとはいえ、少しお祭り会場とは離れた場所での展示。来てくださる方がいるか当初は不安でしたが、道路沿いに置いた地形模型を見て興味を持つ方、展示を知って訪れた方などが多かったようです。

今回は、展示スペースにいらした方と、デザインセンターの活動を共有するだけでなく、皆さんから見た小高や周辺の原町、浪江などのいま・昔の様子を丁寧にお聞きすることもできました。

まちなか菜園の取り組みをしている場所での展示として、実際にまちなか菜園事業で設置したベンチや、屋根園の整備を中心にやって行う OMSBさんとデザインセンターの支援でつくった手作りのパーゴラも活用して展示を行いました。

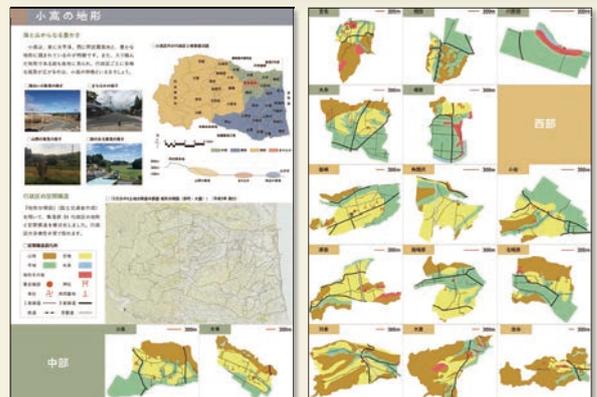
今回の取り組みが、空地やまちなか菜園を通じた、さまざまな交流の機会づくりを考えるきっかけのひとつになればと思います！

まちなか実態調査報告

2018年9月に行った自主調査で、まちなかの土地と建物の状況を調査し、まとめました。空地や建物、再開事業所や建替え建物の分布などを調べています。



集落部の地形・空間構造分析





地域盛り上げ支援事業・活動報告



塚原行政区 アートで海岸を彩ろう!

今年の3月、塚原行政区にお住まいの住民の方から「殺風景な塚原の防潮堤で参加型のアートイベントをしたい」という相談がありました。物寂しい防潮堤を、『みんながアートで彩った明るい場所』、『移住を余儀なくされた方にも、塚原で生活していた“証”となる場所』、『次世代に引き継げる場所』に、という思いからでした。

これまで、その思いに共感した住民有志や、行政区外の協力者の方と、実現に向けた話し合いを進めています。デザインセンターは防潮堤アートの事例紹介や図面の整理、協力者の紹介などをお手伝いしています。塚原の海岸沿いがどんな場所になっていくか、これから楽しみです!



塚原の海岸で整備が進む防潮堤 (2018年9月撮影)



9月の意見交換ワークショップ。図面を見ながらアイデア出し!

ここまでの道のり

3月：塚原行政区の住民から提案アリ
殺風景な防潮堤をアートイベントで彩りたい!

5月：防潮堤アートに向けた検討を開始!
デザインセンターが、防潮堤アートの実施事例や実現可能性を調査

9月：住民有志による意見交換 WS 開催
行政区内外の協力者を募り、実行委員会立ち上げを目指すことに。

10月：第2回の意見交換 WS を開催
行政区外の協力者の方も交えて、実現に向けた活発なアイデア出し

これからの作戦

- イベントやアートのアイデア、実現のための資金を引き続き検討。
- 初日の出やお盆のときなどに多くの方が集まれるイベントをしたい!
- まだまだ、協力してくれる方を探しています!
- 来年の春～夏ごろのイベント実施が目標!

神山行政区 神山の地域史を作ろう!

デザインセンターが昨年12月に実施した各行政区長へのアンケートがきっかけで、神山行政区の方々と意見交換会を実施することになりました。アンケートから、神山行政区では、耕作放棄地などの土地の管理や、帰還された方のコミュニティ再生、帰還者と非帰還者とのつながり方などについて考えていきたいということが分かりました。

その後、会合を重ねていくうちに、特に神山の歴史や思いに関する話題が盛り上がり、地域の歴史を記録する「神山史」を作成しようという方向で進んでいます。デザインセンターでは、不動産の意向調査、活動の提案、地域史の事例紹介などをお手伝いしています。神山の今後の展開が楽しみです!



神山の新たな遊び場所として活用検討中の空き地を見学。



7月に開催した意見交換会。神山公会堂にて。

ここまでの道のり

昨年12月：行政区長アンケートで相談
コミュニティ再生や土地の管理、非帰還者とのつながり方を考えたい!

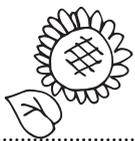
5月：第1回意見交換会を開催
神山行政区のみなさんから、神山の歴史や現状、思いをお聞きする。

7月：第2回意見交換会を開催
前回の議論を踏まえ、神山の地域史を作る方向で話が盛り上がる。

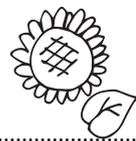
9月：第3回意見交換会を開催
神山に帰還されていない方も加わり、地域史を作る方法を具体的に検討。

これからの作戦

- 地域史をどういう形でまとめるか、引き続き検討。
- 帰還されていない方にも声がけし、神山の昔の写真を集める。
- 定期的に会合を重ね、来年春ごろの完成が目標!
- 地域史づくりと同時に、遊休耕作地を活用した居場所作りも検討中!



たくさんのひまわりが小高を彩りました



2018年の夏は、小高の至る所にたくさんのひまわりが作付けされました。ひまわりは土地の地力を上げるといった効果に加え、美しい景観を創出し、多くの人とその風景を楽しむことができます。中には迷路や散策路を設けて、直接楽しむことができるように工夫している場所もありました。今回は、小高を彩る多くのひまわり畑の中から、4つのスポットを特集します。

●大富行政区



今年もデザインセンターが
迷路の設計をお手伝いしました！



大富行政区では、2017年に引き続き、集落センターの土地でひまわり迷路が作られました。8月4日にはイベントも開催され、今年も多くの人を訪れました。迷路の設計は、福島大学の学生さんにも協力をいただきました。

●上浦行政区



上浦行政区では、地元の有志の方々で、今年から行政区内にある2ヶ所の畑にひまわりが作付けされました。作付けされたひまわりは、辿ごとにそれぞれ開花時期が異なり、ひまわりが咲いている風景を長い間楽しむことができました。

●小屋木行政区



デザインセンターの
メンバーも散策路を楽しみました！



小屋木行政区のひまわり花見の会では、3.3ヘクタール、50万本のひまわりが作付けされました。散策路も整備されていて、中に入って楽しむことができます。毎月一度開かれているサロンに合わせてお花見会を実施したそうです。

●摩辰行政区



摩辰行政区の相馬牧場では、広大な牧草地や周辺の土地を利用して10ヘクタールを120万本のひまわりで彩る、今年の小高で最大級のひまわり畑が作付けされました。ひまわりで囲まれた通路を馬に乗って通るイベントも実施されました。

12
/ 9,10
開催

まちなかに笑顔あふれる菜園を。 ～菜園づくりを楽しくする、講習会を開催します!～

暮らしの中での菜園づくりのプロ、NHK 講師・はたあきひろさんを小高にお招きして、小高の菜園づくりを楽しくするための講習会をおこないます。どなたでもお気軽にご参加ください!

第一部 2018/12/09 (日) 15時～17時 場所：小高浮舟ふれあい広場

講演会+菜園に関する質問コーナー

まちなか菜園の紹介と菜園づくりの感想、みなさんからの質問などを伺いながら、菜園づくりに関するアイデアや工夫を教えてください。*終了後、更紗にて懇親会(希望者のみ・会費制)

第二部 2018/12/10 (月) 10時～12時 集合：小高復興デザインセンター

まちなか菜園ツアー&レクチャー

実際にまちなか菜園をめぐるながら、菜園づくりのアドバイスをその場で教えてください!

講師 (両日)：はたあきひろさん



“ガーデニング研究家”・樹木医。奈良市で家族5人分のお米と野菜をつくり自給生活を送っています。著書に『現役サラリーマンの自給自足大作戦～菜園力で暮らしが変わる～』。NHK テレビでもガーデニング講師として毎月出演。

※第一部・第二部とも事前申し込み不要。懇親会参加の場合のみ、事前にデザインセンターまで

- 主催：小高はなみちプロジェクトチーム
- お問い合わせ：小高復興デザインセンター
南相馬市小高区本町2-89 旧社協会館
電話：0244-44-5100

9月23日(日)、生き生き菜園収穫祭が開催されました!



楽しく収穫しました



参加者全員で集合写真

旧小高商業高校の東手にある「生き生き菜園」では、今年6月から「おだかの元気を耕す会」管理のもと、区画貸しの菜園づくりがスタートしました。開園後、初めての収穫祭をみんなで楽しみました!

菜園づくり、始めませんか?

まちなか菜園事業では、地域の空き地などで菜園やコミュニティの場づくりをしたい方に、プランターやベンチなどを貸し出しています。春に向けて地域の方と菜園づくりを始めてみませんか? 詳しくは、お気軽にデザインセンターまで!



小高復興デザインセンター

2016年夏、設立しました。住民・行政をはじめとして、小高とつながりたいみんなが協働し、実践していく場です。

〒979-2124 南相馬市小高区本町2-89 旧社協会館
TEL：0244-44-5100

Web： <http://td.t.u-tokyo.ac.jp/odaka/>
<https://www.facebook.com/OdakaRC/>